

目 次

1	設計コンセプト	01
2	配置計画図	02
3	1階平面計画図	03
4	2階平面計画図	04
5	3階・R階平面計画図	05
6	新庁舎イメージ	06～09
7	計画概要	10

1. 設計コンセプト

～近代産業の振興に伴い工業都市として栄える大泉町らしさ～

シンプルで機能的な構成

令和4年2月に策定した「新庁舎整備の基本的な考え方」で掲げた5つの基本理念と、令和4年10月に策定した「大泉町庁舎建設基本計画」で整理した基本方針に基づいて、具体的な設計方針を策定するとともに、改めて2つのメインコンセプトを掲げて、未永く使い続けることのできるサステナブル（持続可能）な庁舎を目指して設計します。



～様々な文化や変化を受け入れ発展する大泉町らしさ～

多様性や変化に対応する柔軟性

設計方針Ⅲ 機能的・効率性を重視した庁舎

柔軟性 可変性が高く、心地の良い執務空間
 主要な執務空間は、均質な大空間で自由度の高い構成とし、役職席を決めずに机や椅子を横並びに配置するユニバーサルレイアウトや、フリーアクセスフロアの導入により、機構改革や働き方の変化に柔軟に対応できる空間とします。

機能的 セキュリティを確保するため来庁者と職員のエリアを分離
 来庁者エリアと職員エリアを分離することにより、機密文書や町民の個人情報などの漏洩を防ぐため、高いセキュリティを確保します。

機能的 独立性を高めた町民利用エリア
 町民の多目的利用を想定している1階の多目的ホールや3階の会議室及び議場は、利用者のアクセス動線を東側にまとめることで、管理しやすいつくりとします。

設計方針Ⅳ 省資源・省エネルギーに対応した環境に優しい庁舎

機能的 自然エネルギーを取り込み省エネルギーに対応
 自然光と自然通風を取り入れるエコシャフト(光庭)を執務空間に面して設置するなど、町の気候風土を環境性能に活かします。

機能的 ZEB Readyの認証取得
 省エネルギー性能が高く、環境に配慮した建物の省エネルギー性能指標の1つである「ZEB Ready」の認証取得を目指します。

設計方針Ⅴ 町民の参画と協働を支える庁舎

柔軟性 屋内外一体となった様々な使い方に対応
 屋内の町民利用エリア（多目的ホール・ロビー・待合スペースなど）と、屋外の広場等の連続的な利用が可能となる配置とし、町民にマルチに利用できる場所として整備します。

柔軟性 町民の多目的な活用に柔軟に対応
 幅広い用途に対応するため、各会議室や議場・多目的ホールには可動式の仕切りや間仕切りを採用し、様々な大きさに変えることのできるフラットな空間として整備します。

<凡例>

機能的 メインコンセプト「シンプルで機能的な構成」を補完する具体的な設計方針

柔軟性 メインコンセプト「多様性や変化に対応する柔軟性」を補完する具体的な設計方針

設計方針Ⅰ 誰もが利用しやすい庁舎

柔軟性 すべての人にやさしいユニバーサルデザイン
 身体に障がいのある方をはじめ、子どもから高齢者、親子連れ、外国人など、あらゆる人にとっての使いやすさに配慮するユニバーサルデザインの考え方を取り入れた庁舎とします。

柔軟性 誰もがわかりやすい案内表示
 町の総人口の約19%を占める外国人や障害のある方など、誰もが手続きなどを円滑に行えるよう、従来の対面案内に加え、デジタルサイネージ(電子掲示板)の積極的な導入や、各種案内表示(サイン)を多言語化するなどの配慮をします。

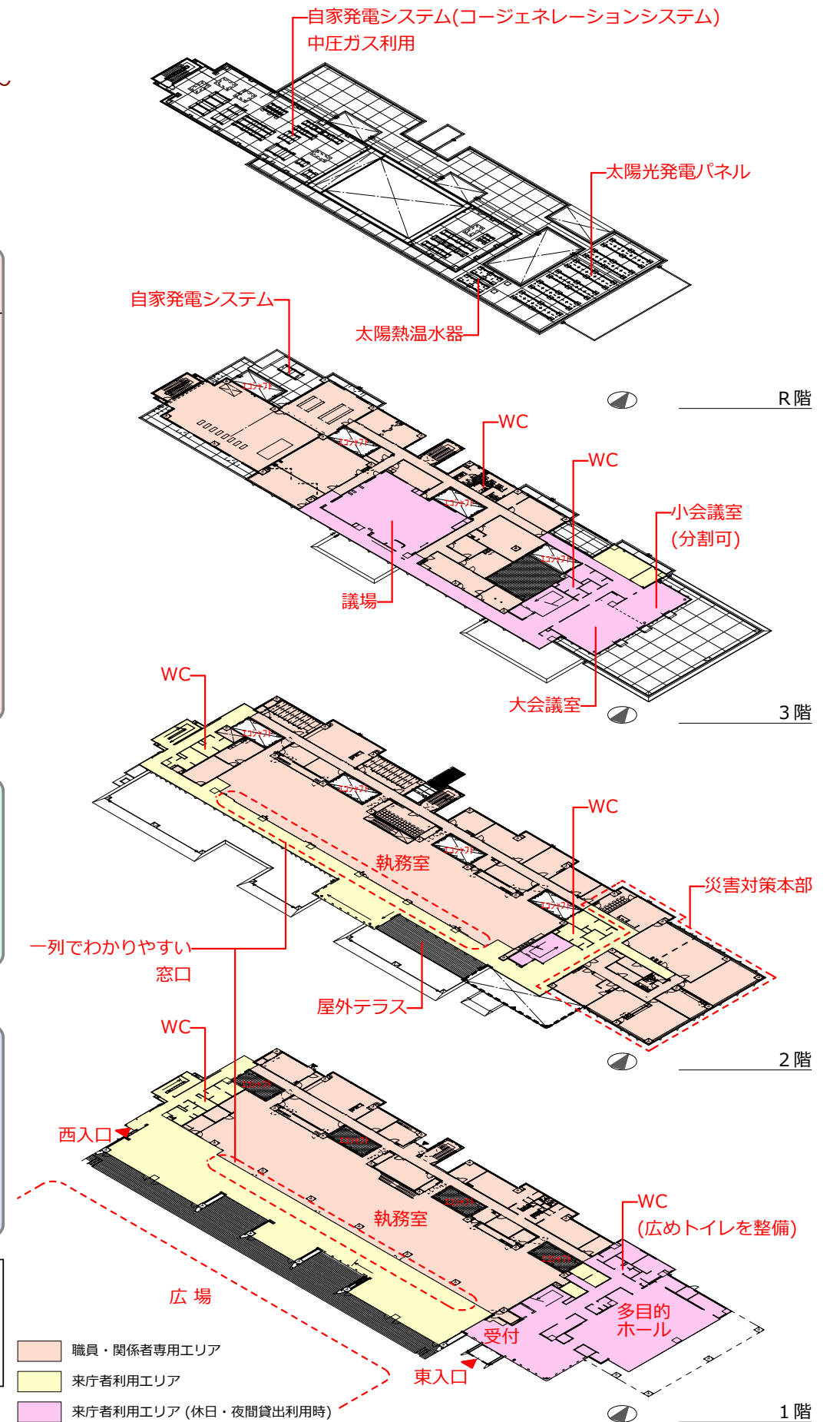
柔軟性 誰もが気持ちよく利用できるトイレ
 来庁者数・職員数に応じた適切な規模のトイレを計画するとともに、車いす使用者や子育て世代、性別等に関わらず多様な需要に配慮して整備します。

機能的 一目で行き先がわかる移動がしやすいレイアウト
 見通しやすくわかりやすい平面計画により、目的の窓口等に至る来庁者のアクセス動線や、職員の業務上の移動動線が、短く移動のしやすいものとなるよう配慮します。

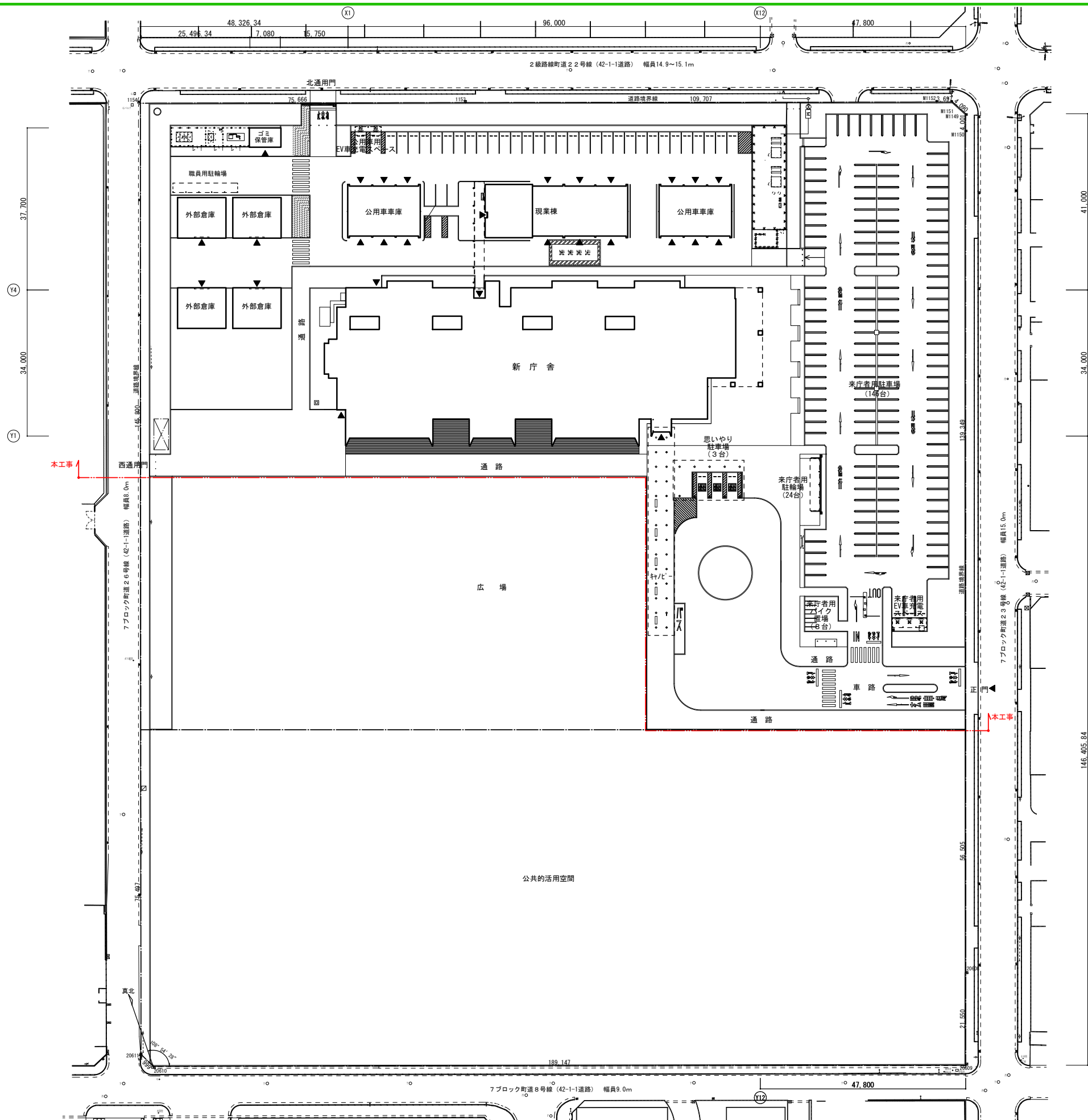
設計方針Ⅱ 町民の安全・安心を支える庁舎

機能的 災害時の機能維持に万全な備えを整備
 高い耐震・耐火・耐久性を有する構造を採用するとともに、停電・断水等を伴う災害時においても事業継続が可能となるよう、災害に強い中圧ガス導管からのガスインフラ引込や、井戸水の削井、自家発電システムの整備等を行います。

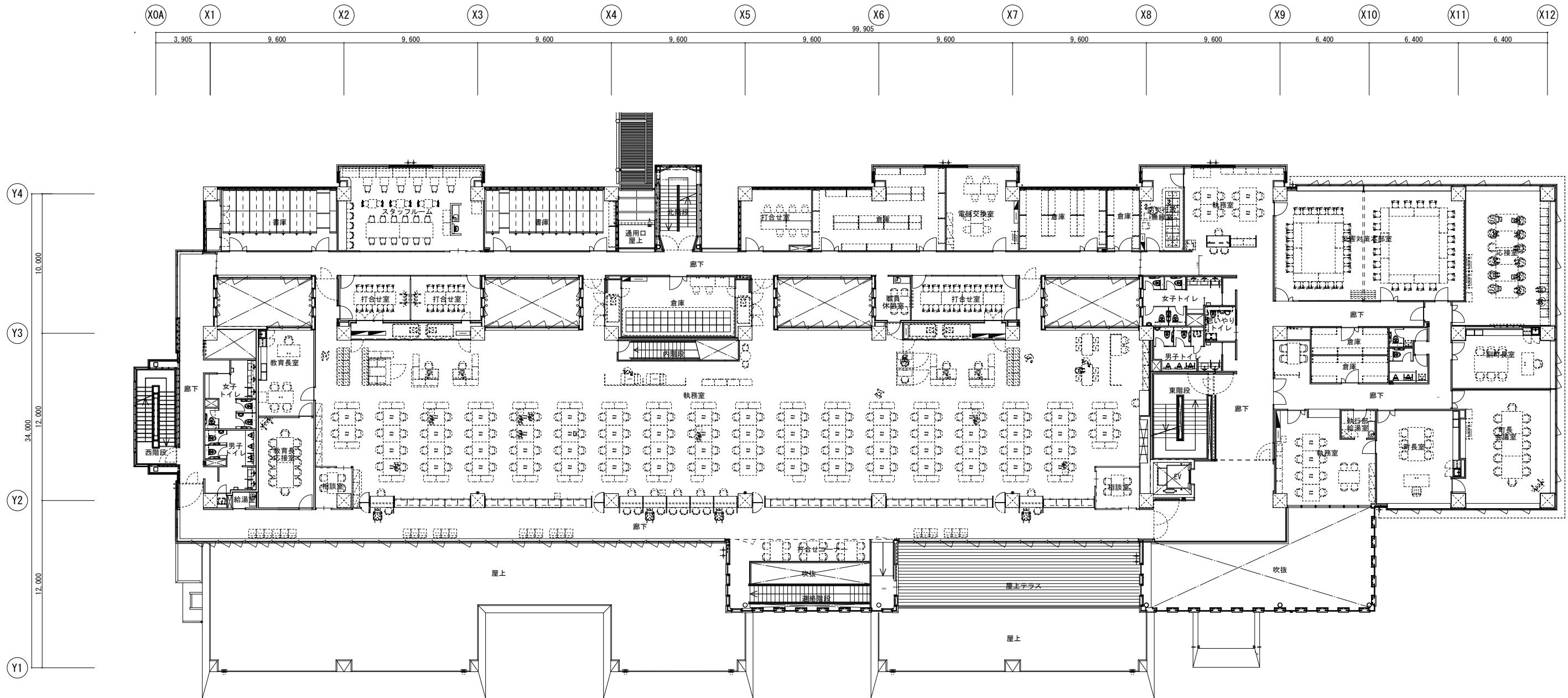
柔軟性 災害発生時には迅速に防災拠点に移行
 災害対策の中核を担う部門を集約して配置することで、災害時における災害対策本部の迅速な設置及びスムーズな活動を実現します。



2. 配置計画図

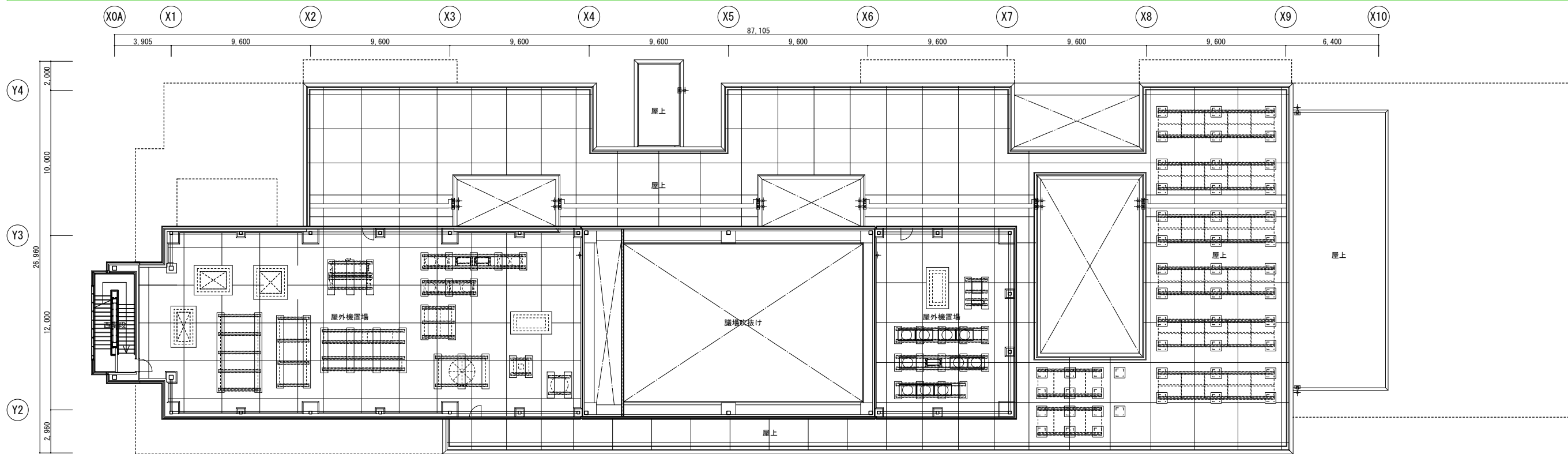


4. 2階平面計画図

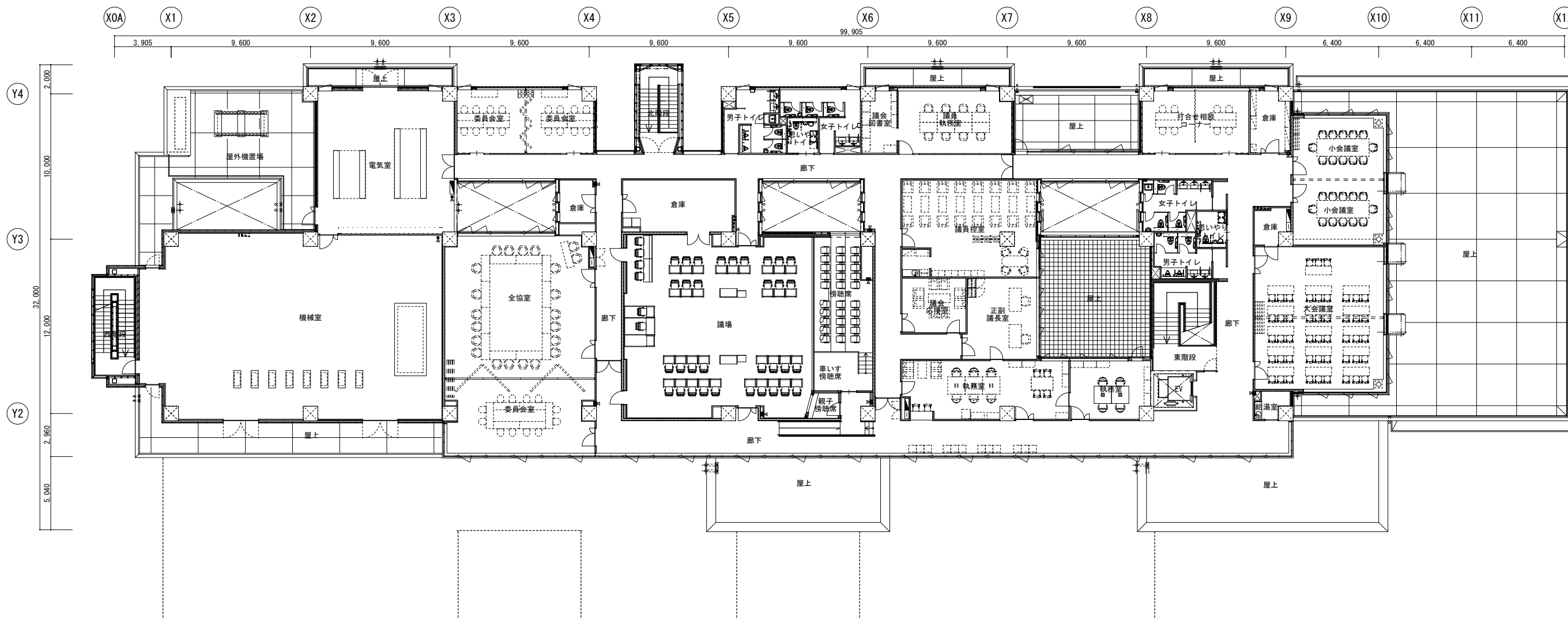


2階平面計画図

5. 3階・R階平面計画図



R階平面計画図



3階平面計画図

6. 新庁舎イメージ



新庁舎を南東より俯瞰したイメージ

6. 新庁舎イメージ



新庁舎を南東側より見たイメージ



新庁舎を北東側より見たイメージ

6. 新庁舎イメージ



1階 エントランスホールイメージ



1階 多目的ホールイメージ

6. 新庁舎イメージ

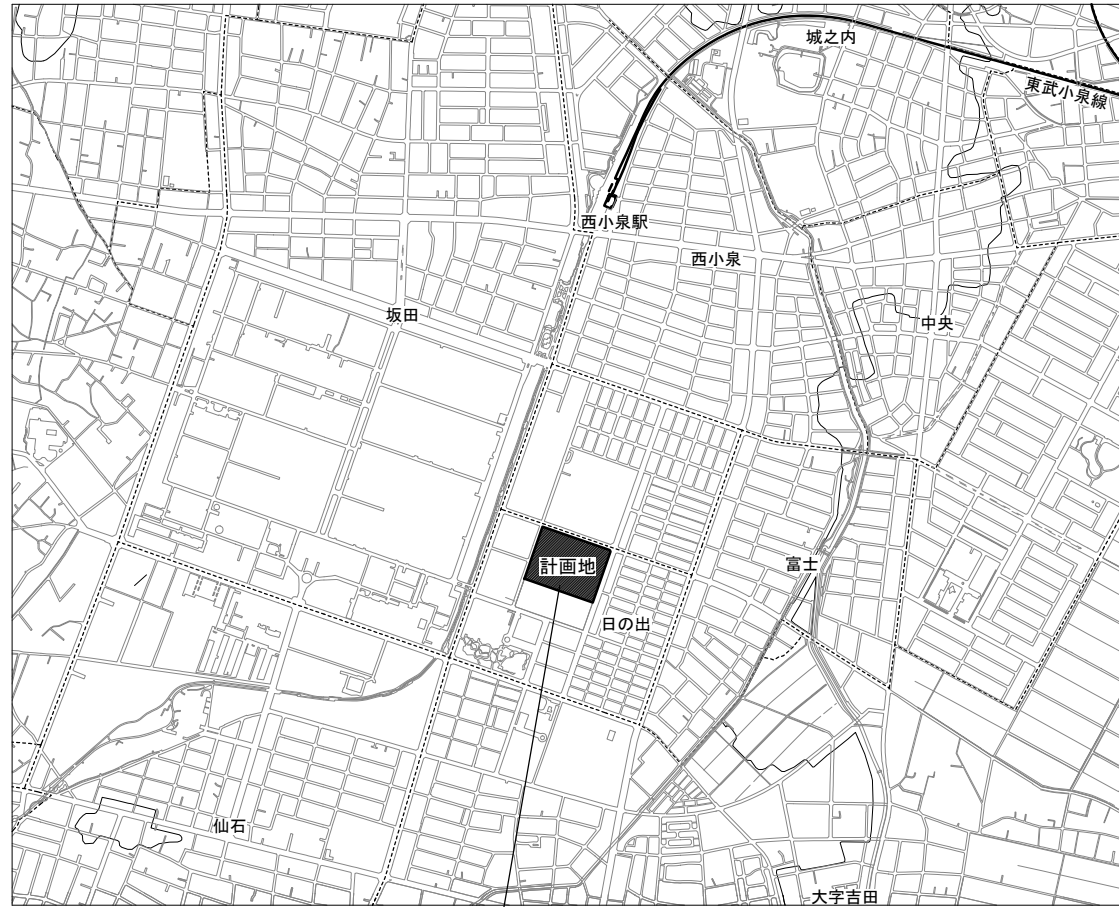


2階 災害対策本部室イメージ



3階 議場内観イメージ

7. 計画概要



計画地 : 群馬県邑楽郡大泉町 日の出188番ほか
 案内図 A1 : 1/15,000 A3 : 1/30,000

■事業スケジュール

令和6年(2024)			令和7年(2025)			令和8年(2026)																				
令和6年度			令和7年度			令和8年度																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実施設計			工事発注			新庁舎建設工事(約18か月)						移転準備			新庁舎供用開始											

■建築概要

- 主要用途 : 庁舎
- 規模 : 地上3階(R階:塔屋)
- 構造種別 : プレキャストコンクリート造一部鉄骨造
- 建築物の高さ : 17.35m
- 延床面積 : 8,560.71㎡(計画地全体) 7,200.21㎡(庁舎のみ)
- 建築面積 : 4,754.25㎡(計画地全体) 3,139.63㎡(庁舎のみ)
- 駐車場台数 : 来庁者用149台(思いやり駐車場3台を含む) 公用車用66台
- 駐輪場台数 : 来庁者用24台

■構造概要

- 耐震安全性の目標 : I類、A類、甲類
- 構造形式 : 耐震構造、床免震構造(サーバー室等)
- 架構形式 : 純ラーメン構造
- 基礎形式 : 杭基礎

<庁舎各階床面積表>

階	床面積 [㎡]
R 階	24.51
3 階	1,785.06
2 階	2,448.93
1 階	2,941.71
合計	7,200.21

<各棟面積表>

棟	延床面積[㎡]	建築面積[㎡]
庁舎棟	7,200.21	3,139.63
公用車庫・現業棟	777.40	794.06
職員用駐輪場	31.50	16.50
来庁者用駐輪場	25.20	13.20
その他付属棟	526.40	790.86
合計	8,560.71	4,754.25

■電気設備概要

- 受変電設備 : キュービクル式
- 発電機設備 : 屋外用ディーゼルエンジン低騒音型 連続運転(備蓄燃料):72時間(3日分) 連続運転(途中給油):168時間(7日分)
- 太陽光発電設備 : あり
- 電灯設備 : LED照明(昼光・人感センサー、タイマー制御等)
- 情報・通信設備 : 構内情報通信網配管設備、情報表示設備(電気時計、館内インフォメーション)、映像・音響設備(議場・委員会・議員出退表示設備含む)、誘導支援設備(インターホン、トイレ呼出、誘導音サイン)、テレビ共同受信設備等
- 防災設備 : 非常用照明設備、誘導灯設備、業務兼用型非常放送設備、自動火災報知設備
- 防犯設備 : 監視カメラ設備

■空調和設備概要

- 空調設備 : 執務室・共用部など(コージェネレーションシステム+排熱投入型吸収式冷凍機)、その他(電気ヒートポンプ)
- 換気設備 : 居室(第1種換気)、倉庫等(第3種換気)、湯沸、便所等(第3種換気)
- 排煙設備 : 自然排煙
- 自動制御設備 : ビルエネルギー管理システム(BEMS)

■給排水衛生設備概要

- 衛生器具 : 節水型器具[大便器:壁掛け型、小便器:壁掛け型、自動水栓、節水・節湯型水栓]
- 給水設備 : 給水システム 上水、雑用水(井水利用)の2系統 給水方式 上水、雑用水とも受水槽+加圧給水方式
- 給湯設備 : 電気温水器、小型エコキュートによる局所給湯方式
- 排水設備 : (汚水・雑排水)屋内分流、屋外合流の上、公共下水道に接続(雨水)雨水流出抑制対策の上、公共雨水管に接続
- 消火設備 : 屋内消火栓、消火器
- ガス設備 : 都市ガス